

など不安定な時期が続くため「危険な国」ビジネス圏として疑問」などというイメージが先行し、苦しい代があった。

政治的安定を土台とした経済というユドロノ政権の10年上げられた信頼が、選挙の崩れるかもしれない。悪夢が、国内のビジネス関係者（心そかに心配されていた。権が平和裏に誕生したことが成長段階に入ると判断された。2015年に始まる

サンデー経済

進出チャンス

ネシアは、着実に前に進んでいる。しかし、アジア通貨危機前の時期も、安定したスハルト長期政権の下、この国は大きく発展していき、誰もが信じて疑わなかった。しかしその後続いた危機の影響で、本意ながら、この国を去るようになった企業や邦人が多く存在したのも事実。経済成長の過程にあるこの国にも、確実にカントリーリスクは存在する。杞憂ながら、進出を考える出資者には必ず伝えるようにしている。(日刊邦字新聞「じゃかるた新聞」ジエネラルマネージャー)

今回は加藤貴士・県産業振興公社香港事務所長です



味の素ゼネラルフーズの「マキシム ちょっと贅沢な珈琲店 プレミアムドリップ」

最上級

試作品を1万人以上の人たちに試してもらい、作り上げた。品質にもこだわろうと最上級の豆を使い、従来品よりもコーヒーの量を2割増やした。

入社後、営業やインスタントコーヒー開発を担当したほか、ギフト部門でさまざまなタイプの商品開発に携わった。「今後も伸びが期待されるドリップコーヒー分野で、特定層を対象にした商品の品ぞろえを充実させたい」。北九州市出身。32歳。

に期限を迎える。消費税増徴税が17年4月に1年半延期されたことを受け、贈与非課税と住宅ローン減税の適用期間をいずれも19年6月まで延長する。

非課税枠は段階的に動かす。住宅市場をこ入れするため、まず15年1月に1500万円へ引き上げる。16年1〜9月は再増税前の駆け込み需要が発生すると予想されることから1200万円に下げられる。再増税半年前の16年10月からは反動減対策として3千万円に拡大し、17年10月以降は段階的に縮小していく。

琉銀 マレーシアで県産PR

ハラールビジネスも提携



琉球銀行(金城建設頭取)は19日から3日間、マレーシア・アクアラルプールで開かれた同国最大の食品展示会「第7回テイストフリーフード&ビレッジエクスポ2014」の会場内に設けられた琉球銀行のブース(琉球銀行提供)

「第7回テイストフリーフード&ビレッジエクスポ2014」の会場内に設けられた琉球銀行のブース(琉球銀行提供)

14で、ウコン茶や加工黒糖菓子などの県産品を展示した。マレーシアでの販路拡大を支援するため、県内企業に代わって現地のバイヤーと商談し、沖縄の特産品と観光をPRした。

同行は8日、ハラールを認証するマレーシアハラールコーポレーション(MHC、東京都、アクマル・アブ・ハッサン代表とハラールビジネスで業務提携を締結。

26日、エクスポの報告で沖縄タイムス社を訪れたコンサルティング営業部の渡久地卓調査役は「沖縄の認知度はまだ低かったが、今後も販路拡大を目指す県内企業を支援していきたい」と話した。

強い風に最高益

2014 10

自動車・電機

2015年3月期 第2四半期 決算説明会



2014年9月中旬連結決算を発表したトヨタ自動車の記者発表

連結決算の純利益は前年同期比12.6%増の1兆1268億円と、2年連続で過去最高を更新した。消費税増税の影響で国内では苦戦したが、海外での売り上げが円安で膨らんだ。

トヨタは下半期(14年10月〜15年3月)の部品購入価格の値下げ要求を見送る方針だ。取引先の部品メーカーに配慮した異例の利益還元で、「一人勝ち批判」を避ける狙いもあるとみられる。

マツダやスズキ、富士重工業、三菱自動車も中間期の連結純利益が過去最高だった。

ラ事業に力を入れた日立製作所や三菱電機が好調だ。日立は、中国でのエレベーター事業が伸びており、欧州や東南アジアで鉄道事業も拡大させている。三菱電機は、中国を中心にスマートフォンの工場などの設備受注が盛んだ。

一方、ソニーはスマホ事業が苦戦し、15年3月期の純利益が2300億円の赤字に陥る見通しとなった。株主への年間配当は1958年の上場以来、初の無配を決めた。

平井一夫社長は「2014年度に構造改革をやり切る」と宣言

AI(O(バイオ)事業からの撤退を決断した。テレビ事業も分社化した。

だが、成長の柱に据えたスマホは、販売見通しを7月と10月の2度にわたって下方修正し、中国での事業の大幅縮小や、約千人の人員削減も発表した。ただ抜本的な再建策はこれからで、15年度に追加の人員削減も示唆している。

好調な自動車各社だが、今後の業績をめぐっては、自動車部品大手カタワのエアバッグ欠陥問題が影響を与える可能性があるが、行方が注目されている。

参加者募集!

KOURIJIMA MAGIC HOUR RUN 5th Anniv.

2015 4.18 (sat) 15:00

会場 今帰仁村総合運動公園 スタート

募集種目 ハーフ 制限時間 3時間15分 定員 4,000

参加費 > ¥4,500 ハーフ 11km 大会運営費、傷害保険料込

参加賞 > カラーTシャツ、完走者全員に完走証、完走メダル

表彰 > 各種目男女別総合3位まで。ハーフの部は別途各男女別20代より10歳刻み60代以上まで1位表彰